

带状疱疹任意予防接種費用助成について

带状疱疹の発症及び重症化予防、接種費用負担軽減を目的に予防接種費用の一部を助成します。

1. 带状疱疹とは

| | |
|----|---|
| 原因 | 水痘・带状疱疹ウイルスの感染によるものです。水痘に感染した際のウイルスが長期間体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレス等がきっかけで再び活動、増殖して発症します。 |
| 症状 | 水ぶくれを伴う赤い発疹が体の左右どちらかに帯状に広がり、強い痛みを伴うことが多く、 症状は3～4週間 ほど続きます。皮膚症状治癒後も、長期間痛みが残る 带状疱疹後神経痛 を引き起こし、痛みが継続する場合があります。 |
| 傾向 | 80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症するとされ、50歳以上では 带状疱疹を発症した人の2割程度 が、带状疱疹後神経痛に移行するとされています。 |

2. 带状疱疹の予防接種について

現在、带状疱疹の予防接種は、2種類あり、医療機関によって、取り扱うワクチンが異なります。ワクチンには、それぞれ特徴があり、現在治療中の方や体調等により、ご希望のワクチンを接種できない可能性があります。

接種する際には、主治医や接種先の医師とご相談し、接種してください。

| | 組換えワクチン 「シングリックス」 | 生ワクチン 「ビケン」 |
|--------------------------------|---|---|
| 対象者 | 満50歳以上 ※定期予防接種対象外で、定期接種を含め過去に带状疱疹予防接種の助成を受けていない人 | |
| 接種回数／方法 | 2回／筋肉内注射 〈2回目接種について〉 ・接種間隔：1回目接種から2か月後(遅くとも6か月後までに2回目接種をうけてください) ・使用ワクチン：1回目と同じもの | 1回／皮下注射 ・免疫不全の方は接種出来ません。 ・接種後、他の生ワクチンの接種には、27日以上の間隔をあける必要があります。 |
| 副反応 | ・注射部位の痛み、腫れ、発赤、筋肉痛、全身倦怠感、悪寒、発熱。 ・非常にまれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがあります。 | ・注射部位の痛み、腫れ、発赤。 ・非常にまれにアナフィラキシーや血小板減少性紫斑病など重篤な副反応が現れることがあります。 |
| 予防接種費用(目安) ※医療機関によって異なります | 1回20,000～25,000円程度 | 8,000～10,000円程度 |
| 助成額 | 1回につき10,000円 | 4,000円 |
| 自己負担額 (予防接種費用から助成金を差し引いた金額) | 10,000円～15,000円程度 (1回の接種につき) | 4,000円～6,000円程度 |
| 带状疱疹発生・带状疱疹後神経痛抑制効果 | 90～95%以上 | 50～60% |
| 持続期間 | 9年以上 | 5～8年程度 |
| 注意事項 | 2回接種完了後の再接種は、助成できません。 | |

参考：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料、取り扱い説明書

3. 注意事項

- ・任意予防接種費用助成を受けた人は、定期予防接種の対象にはなりません。
- ・申請日から3か月以内を目安に、配布した予診票を持参し、医療機関を受診してください。
- ・**2回目接種が1回目接種から6か月を過ぎた場合は、助成の対象にはなりませんので、ご注意ください。**

例) 1回目が4月1日の場合、2回目は6月1日(遅くとも10月1日まで)です。

- ・使用しなかった予診票は破棄してください。

お問い合わせ先：みなかみ町役場子育て健康課健康推進係 (Tel: 0278-62-2527)